

# 第1学年 音楽科 シラバス

## 1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽を親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

〔第1学年の目標〕

(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>「発声」「奏法」「言葉の発音」「身体の使い方」等、音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創意工夫を生かした音楽表現ができる。</li> <li>楽曲についての基本的な知識（作品に関すること、用語や記号等）を身に付けることができる。</li> <li>正しい音程やリズムで、音楽を表現することができる。</li> <li>課題や条件に沿った音の選択や組合せを選び、創作することができる。</li> <li>曲想と音楽の構造との関わりや、音楽の多様性について理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>実技テスト</li> <li>ワークシート</li> <li>授業での取り組み</li> </ul>
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのように音楽を表現するか、思いや意図を持つことができる。</li> <li>自らの思いや意図を基に、表現を工夫することができる。</li> <li>音楽の様々な要素を感じ取り、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、言葉で表現することができる。</li> <li>授業で学んだことを振り返り、次にどのように生かすかを考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>実技テスト</li> <li>ワークシート</li> <li>振り返りシート</li> <li>ワークの取り組み</li> </ul>
III 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱・器楽・創作・鑑賞のそれぞれの学習活動に取り組むことができる。</li> <li>学級やグループの仲間と協力して、協働的な態度で取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動への取り組み</li> <li>振り返りシート</li> <li>ワークシート</li> <li>ワークの取り組み</li> </ul>

## 3 年間指導計画

学期	月	単元
一学期	4 ～ 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歌唱「無理のない自然な声の出し方で歌おう（校歌 他）」</li> <li>●合唱「思いをこめて合唱しよう（その先へ 他）」</li> <li>●鑑賞「イメージと音楽との関わりを感じ取ろう」 ○楽典「音符、記号、音楽用語」</li> <li>●鑑賞「音楽の特徴に着目しながら、情景を思い浮かべよう（春）」</li> <li>●創作「音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう」</li> <li>●合唱 1学年課題曲、自由曲〈合唱コンクールに向けて〉</li> </ul>
二学期	9 ～ 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●合唱 1学年課題曲、自由曲〈合唱コンクールに向けて〉</li> <li>●鑑賞「日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう」</li> <li>●鑑賞「曲想と音楽との関わりを理解して、その魅力を味わおう（魔王）」</li> <li>●歌唱「日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう（夏の思い出、赤とんぼ）」</li> <li>●創作「全体の構成を考えながら音楽をつくらう」</li> <li>●器楽〈箏実習〉「箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう」 ○楽典「音符、記号、音楽用語」</li> </ul>
三学期	1 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●器楽〈月島太鼓〉</li> <li>●鑑賞「日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう」</li> <li>●合唱「1年間のまとめ」「君が代」</li> <li>●器楽「曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう（アルトリコーダー）」</li> <li>○楽典「音符、記号、音楽用語」</li> </ul>

## 4 学習のポイント

【知識・技能】

- 主に各学期末に実施する定期考査で、基礎的な知識の理解や技能についてのテストを実施します。
- 学期毎の実技テストや授業内での取り組みを、評価項目毎にABCの基準を定めて評価をします（例：歌唱…姿勢・発声・音程等）
- A…基準に対して、十分にできている（例…正しい姿勢で歌うことができ、かつ美しい発声と正確な音程で歌うことができている）
- B…基準に対して、おおむねできている（例…正しい姿勢と安定した発声で歌うことができている）
- C…基準に対して、いまひとつである（例…姿勢が崩れたり、発声や音程が乱れている）

【思考・判断・表現】

- ワークシートや振り返りシートを用いて学習を進めます。目標を持ってそれぞれの学習に取り組ましましょう。（例：振り返りシート）
- A…何を学習したのかを振り返り、できたことと課題をまとめることができる。それらを基に次回どのように頑張りたいか等の自分なりの考えや思いを記入することができる。
- B…何を学習したのかを振り返り、できたことと課題をまとめることができる。
- C…記入すべき内容が不十分である。

【主体的に学習に取り組む態度】

- クラスやパート等の周りの仲間と協力して、主体的・協働的にそれぞれの活動に取り組ましましょう。
- 苦手なものにも挑戦！得意なものだけに終わるのではなく、苦手なものにも積極的に取り組ましましょう。

●学習を進めていく上でのポイント

- 忘れ物は、ゼロを目指しましょう。忘れ物をした場合は、授業が始まる前までに私のところまで来てください（誰でもミスはあります。でもその時は隠さず、正直に伝えるようにしてください。早めに伝えてもらえると、予備の準備ができる場合があります）
- 単元ごとに、タブレットや紙のワークシートを使って学習を進めます。提出してもらおうものになりますので、丁寧にまとめてください。

◇今年度1、2学年は教科書出版社が変更になりました。これに合わせてワークを導入しますので、こちらも活用してください。

- 音楽に間違いというものはありません。一人一人が感じたこと全てが正解です。たくさん自分の考えや意見を出してほしいと思います。
- 仲間と協力して、1つの音楽を作り上げる。そのために、一人一人が積極的に取り組み、楽しんで音楽活動をしていきましょう！

